

令和4年2月13日

第95回インカレ参加者 各位

PCR検査について

- 1、検体提出から結果通知到着までの時間がかかるケースが見受けられるので、事前に検査機関に問い合わせるなど、大会参加日に間に合うよう注意すること。
- 2、週末に検査機関が活動しているか、郵送の遅れは、等にも気を付けること。
- 3、感染患者の急激な増加により上記のような状況が想定されるので、事前にPCR検査受件の予約を取るなど準備を行うこと。
- 4、上記の理由で止むを得ずPCR検査を受けられない状況にある場合、72時間前までの検査にこだわらず120時間前までの検体を使った検査を認めることがある。
- 5、可能ならば、郵送対応ではなく都市部の検査機関での直接の検査が望ましい。
- 6、遠征等で郵送対応の検査となる場合には上記の1、2、3、に注意すること。
- 7、各大学が以上を検討したうえでPCR検査を行ったが、大会参加日までにPCR検査の結果が届かない場合には、現地で抗原検査を行い陰性が確認され、かつGLOBALSAFETYの履歴にも問題がなければインカレへの参加を認める。
現地での抗原検査は以下のものを認める。
 - ① 自前の抗原検査キットがある場合：
各大学で大会参加日に検査を行い、陰性であればその氏名と結果を「健康管理表〈各大学・団体とりまとめ用〉」の余白に記載して学連に報告する。
 - ② 自前の検査キットがない場合：
各大学の対策責任者が上記①の抗原検査を行いたい旨を2月21日（月）までに学連事務局に連絡すること。2月22日の午前かそれ以前に鹿角市に入る場合には、
宿舎の部屋から出ずに待機していること。
学連現地事務所を2月22日14時に開設するので、対策責任者（またはPCR検査の結果が陰性の部員）が抗原検査キットを受け取り速やかに検査を行い、結果を「健康管理表〈各大学・団体とりまとめ用〉」の余白に記載して学連に報告すること。
- 8、上記7、によりインカレ参加を認めた場合にも、PCR検査の結果の報告は必須とする。
- 9、インカレ最終日までにPCR検査の結果を学連へ報告しなかった場合、その大学は「第95回全日本学生スキー選手権大会における参加条件」の「3、参加条件に違反したとき」に該当するものとし、その大学の全ての種目の学校対抗得点を0点としたうえで、大学名を学連HPに公表する。

以上